

支那——機構と人物

れば、二億や三億の公債應募は極めて容易なことであるに拘らず、かく冷淡なるは、一には愛國心の缺如に基き、更に彼等の元爲替に對する不安の念に基く。支那が敗戦の曉には、元通貨崩落は當然豫想されるところで、これが打算第一の彼等の應募をにぶらせてゐるのである。これがため最近財界人の間には、救國公債の償還は應募當初の物價指數を基準として算出した貨幣額をもつてすべし、との説が傳へられてゐるほどで、財界人自身が元爲替の崩落を豫想してゐる證左として注目されてゐる。

十月二十日

○上海入港船舶の激減

事變發生以來上海出入の船舶數は著しく減少し、殊にわが海軍の支那船舶航行遮斷實施以後は、支那船舶の出入全く路を斷ち、現在では外國船が少數出入してゐるのみである。上海海關の發表によれば九月中の出入船舶は三十隻・十三萬四千トン（純トン）にして、八

月に比し四十三隻・二十二萬八千トン減と、トン數において約三分の一に激減してゐる。なほ日本船は、上海丸・長崎丸の兩連絡船が定期就航してゐるが、事變以來海關に届出をしてゐないため、右の數字に含まれてゐない。各國別入港船舶數は左のごとくである。

	隻數	トン數
イギリス	十九	五六、二九一
フランス	四	三四、九二九
オランダ	四	一八、八一〇
イタリ	一	一三、八四一
アメリカ	一	六、七三〇
その他	一	三、九七八

十月二十一日

○經濟絶交委員會の宣誓規約

上海國民對日經濟絶交委員會では、過般の代表大會で決定した對日經濟絶交運動を實行するため、中央に對し經濟資敵治罪條令の制定を請願するとともに、同

運動加入者の宣誓並に規約書を作成し、大々の運動を起すことになつた。宣誓および規約文は左の如くである。

△宣誓文

宣誓人は上海市國民經濟絶交規約の規定を遵守し、日本と一切の經濟關係を斷絶することを誓ふ。若し違約行爲あれば、規約條令の最も嚴重なる制裁を甘受すべし。

△規約

- 一、總て對日經濟絶交を宣誓するものは、本規約の拘束を受けるものとす
- 二、宣誓の日より左の行爲あるべからず
  - (イ) 日本貨物を購入・販賣または運輸すること
  - (ロ) 日本政府及び人民或はそれらの代理人と貨物の賣買をなすこと
  - (ハ) 日本人に使用され、或は日本人を雇傭すること

附 録

- (ニ) 日本車船に乘車船し、または日本人に船車を供給すること
- (ホ) 日本人の家屋を賃借し、または日本人に家屋を賃貸すること
- (ヘ) 日本商船と現金送金或はその他の經濟關係を結ぶこと
- (ト) 日本人と既に締結せる契約を繼續履行すること

- 三、宣誓後前條の行爲の一を犯すものは左の制裁を受くべし
  - (イ) 法規に規定の處罰
  - (ロ) 貨物・金錢または財産を沒收し、並に十倍以上或は一千元以下の違約金を徴す
 前項の制裁は上海市國民對日經濟絶交委員會が決定しこれを執行す
- 四、宣誓人は隨時經濟絶交委員會の登記検査及び鑑定に應ずべし

十月二十三日

○財政破綻に瀕す

蔣介石は今事變勃發以來、財政の中央集權を強化して長期抗戦に備へんとしてゐるが、これがため、従来より地方財政に給與してゐた補助金は極度に削減され或は全然杜絶するに至つたので、各地方財政は漸次逼迫を告げ、官吏の俸給など殆んど不渡りといふ状態に陥り、あと二、三ヶ月すれば、その財源は全く涸渇するものと豫想されてゐる。一方、財政部長孔祥熙も『長期抵抗するには、支那は或る種の財政政策をとらざるを得ない。これは國民の等しく苦痛とするところであらうが、國民はよくこれを忍ぶべきであらう』との談話を發表しにゐるが、これらの情勢は、支那の財政状態が今や全く破綻に瀕しつつあることを示すものである。

十月二十三日

○南京政府より綏遠全省離脱

日蒙兩軍の綏遠進撃により綏遠縣城にあつて漢蒙兩民族を壓迫・搾取してゐた支那軍閥は完全に一掃され、綏遠全省の政治・經濟・交通・治安等の萬端は、民衆の選出・結成した治安維持會の手によつて行はれることになつたが、歸綏の各界代表並に市民間には、支那軍閥の暴政と國民黨の容共政策の一掃された今日、最早南京政府の下より離脱して、明朗な防共政權を樹立し、民衆の手により樂土建設に邁進すべしとの空氣が、日毎に昂つて來た。よつて歸綏治安維持會では二十三日午前十一時公會堂に市民大會を開催し、民衆の總意に基く宣言を可決し、南京政府より離脱した新政權の樹立に邁進すべく活潑なる運動を開始した。なほ市民大會は、中國の年號を廢し、成吉思汗紀元に改めて、二十三日より成吉思汗紀元七百三十二年十月二十三日と呼び、更に従來の青天白日旗を捨てて蒙古旗を掲げることを決議し、即日實行することになつた。

事項索引

(備考) 排列は五十音順、表音による。  
例へば廣東はカントン、抗・黃はコウ、その他これに準ず。

ア 行

愛國公債……………三三四

廈門抗日救國會……………八二

安 徽 派……………一九・三

一 全 大 會……………二三

「一面抵抗・一面交渉」……………二三

力 行

海 軍 部……………四三

華 興 會……………二〇

革命委員會(南昌)……………二三

事項索引

革命青年軍人同志會……………二六

華 西 財 閥……………三三

華 東 財 閥……………三三

華 南 財 閥……………三三

華 北 財 閥……………三三

干城同志會……………六二

廣西省學生救國聯合會……………八二

廣東文化界救國會……………八二

極東弱少民族會議……………三七

「救 國 時 報」(雜誌)……………二六

共產軍討伐(第一次)……………二四

行政院直屬委員會……………九七

銀行業同業公會……………三〇

軍事委員會……………四〇

軍事參議院……………四三

軍政期・訓政期・憲政期の三段階……………九四

軍 政 部……………四二

支部——機構と人物

訓練總監部	一四二	「呼報」(新聞)	一〇一
憲法幹部團	一六二	護法	二二
五院の組織及び職權	一六六	コミンテルンの新戦術	四三
行營副秘書部	一六三	察南自治政府	一三七
「貢獻一點整理本黨的意見」	一六一	參議院	一五
工人救國會	一八四	參謀本部	一四一
興中會	二〇	辛亥革命	七・四
國難教育社	一八四	O・C團	四五
抗日救國初步政治綱領	一八四	C・O團の綱領	六九
抗日救亡聯合陣綫	一七	四大財閥	一三一
光復會	一〇	七君子	八二
黃埔同學會	四七・六三	事變前の二十九軍の構成	一七一
胡漢民監禁事件	一八一	上海各界救國聯合會	一八六
國共合作に關する蔣の談話	一九	上海工人救國會	八二
國民政府組織法	一九	上海市商會	三〇
國民政府の容共聯ノ政策	二二	上海清黨クーデター	一三
五權憲法	一九三		

上海著作人協會	一八七	西南事變	一六八
上海文化救國會	一八六	西南政務委員會	一三一
上海婦女界救國會	一八七	政府公債	一三四
「從日本的廢藩說到我國的整軍」	一四九	政府直屬委員會	一七
蔣汪合作政府	一七	全國各界救國聯合會	六
蔣介石の上海進出	一三	全國各界救國聯合會成立大會宣言	八四
省政府の組織	一九	全國國防會議	一四三
肇和事件	一六	善後借款	一五
「神洲日報」(新聞)	一〇一	宋一家と蔣政權	一四四
「新生」(雜誌)	二〇	尊孔復古運動	一三三
「新生」不敬事件	一六	孫文・ヨッフエ共同宣言	一三
瑞金の陷落	七	孫文の革命原理	一三
綏靖公署	一四三	ソヴェト區	一三
西安事件	一六	ソ支不可侵條約	一〇七
政學會	二	ソ支秘密協定	一七
西山會議派	三二	多行	一七
西園	四七	對獨宣戰布告	二〇

事項索引

支那——機構と人物

對日宣戰通電……………七七  
團結禦侮の若干の基本條件と最低要求……………六九〇  
團匪事件……………三  
知日派……………二五〇  
中央監察委員會……………二〇一  
中央執行委員會……………二〇〇  
中央政府政治組織の概要……………一九四  
中華ソヴェト共和國臨時中央政府……………二四  
中國共產黨の國共合作に對する宣言……………二八  
中國共產黨中央執行委員會の宣言……………四  
中國國民黨救亡社……………四八  
中國同盟會……………一〇・一四・一六・一四六・一七二・二一  
中國同盟會の主義主張……………二一  
中國棒喝黨……………四七・六五  
中山艦事件……………三三  
「中蘇文化」(雜誌)……………九九  
中蘇文化協會……………九八

直隸派……………三  
チンパンの首領……………二五二  
天壇憲法……………二六  
同維社……………三三  
「討袁軍」……………二五  
塘沽停戰協定……………二〇五

ナ行  
南京救國協進會……………八二  
「二十八宿」……………二六

ハ行  
白色ゲ・ベ・ウ……………五〇  
八・一南昌暴動……………一五  
八・七緊急會議……………二九  
フアツショ團體……………四五  
武漢文化界救國會……………八二  
復興社……………六二  
武昌起義……………三

平津民族解放先鋒隊……………八二  
幣制改革……………三三  
編遣會議……………三三  
「變法圖強」……………八  
北支自治運動……………三七  
北支軍閥……………一四・一九・二  
香港抗日救國會……………八二

マ行  
滿洲地產宣言……………四八  
滿清政權……………七  
ミフ派の黨權獨裁時代……………二七  
「民權保障同盟」……………九・九三  
「民呼報」(新聞)……………一〇一  
「民報」(中國同盟會機關紙)……………一〇七  
「民立報」(新聞)……………一〇一  
棉麥借款……………二四七

ヤ行  
容共政策(第一次)……………二二  
容共聯ソ(第二次)……………二五

ラ行  
ラデツク……………二六  
藍衣社……………四三  
藍衣社總章……………五一  
藍衣社の機構……………五一  
陸海空軍總司令部……………四三  
留佛苦學團……………二九  
流氓資本家……………二五  
「李立三」コース……………一四  
臨時政府約法……………二四  
勵志社……………三三  
聯ソ容共政策……………三〇

事項索引

——索引了——

昭和十二年十一月十八日印  
昭和十二年十一月二十二日發  
行 刷



「支那——機構と人物」  
定價 壹圓六拾錢

著作 齋 藤 剛

發行 東京市麴町區元園町一丁目五一  
仲 摩 照 久

印刷 東京市牛込區西五軒町三四  
福 山 福 太 郎

印刷 東京市牛込區西五軒町三四  
福 山 印 刷 製 本 所

東京市麴町區元園町一丁目五十一番地

發 行 所

太 陽 閣

電話九段二三八三番  
振替東京八三一八二番

ITZ-5







